

言語／嚥下障害に対する認知神経リハビリテーション・ベーシックコース
(愛知・プログラム)

1日目

09:10- 受付

09:25- オリエンテーション

[認知神経リハビリテーション入門]

09:30-10:20 (50) 認知神経リハビリテーションとは何か (園田)

- ①脳のリハビリテーションと情報の受容表面としての身体
- ②機能解離による病理と適切な情報構築のための問い
- ③臨床実践に向けた行為の観察のコツ

[摂食・嚥下障害に対する認知神経リハビリテーション]

摂食・嚥下のプロセスに関わる口唇、舌、顎関節、頬といった口腔周囲器官を「情報器官」として捉え、その障害に対する新たな病態解釈と仮説立てを行う。そうすることで、どのような訓練を行うべきか、どのような介入可能性があるかについて、臨床実践レベルでの拡張が生じてくる。本コースでは、これら病態解釈に必要な基礎神経科学から症例を通じた病態推定の実際、および演習を通じた情報構築のための訓練の道具製作と認知課題の実際を経験していく。

10:30-11:40 (70) 摂食・嚥下の神経メカニズムと介入可能性 (木賊)

- ①摂食・嚥下障害の病態解釈のための神経科学
- ②摂食・嚥下機能の情報メカニズムと学習プロセス
- ③摂食・嚥下機能のシステムと機能環

11:50-13:00 (70) 摂食・嚥下の行為論 (玉木)

- ①食べるという行為の脳機能システム (比較学習モデル) の応用
- ②食べるという行為の外部観察と内部観察
- ③訓練に必要な臨床思考 (仮説-検証プロセス)

昼休み

13:50-15:10 (80) 摂食・嚥下障害に対する認知神経リハビリテーションの実際 (本田)

- ①口腔内の身体表象の変質 (口腔内半側空間無視症例／舌の先がない症例)
- ②進行性疾患への介入可能性 (ALS 症例)
- ③先行期の重要性と介入 (手づかみで食べる症例)
- ④食べられるが、どのように食べればいいのかわからない症例 (口部顔面失行様症例)

15:20-17:20 (120) 演習：口腔器官に対する認知問題の実践 (全講師)

- ①模擬食塊の「形態」認知課題
- ②模擬食塊の「硬さ」認知課題
- ③舌の体性感覚地図検査体験

18:30 レセプション

2日目

09:00- 受付

[失語症に対する認知神経リハビリテーション]

認知神経リハビリテーションにおける言語療法は「脳の機能システムの再組織化」のためのものである。理学療法士や作業療法士は運動機能の回復が課題であり、言語聴覚士は言語機能の回復が課題となる。どちらも患者の崩れてしまった脳機能システムをどのように回復させていくかという点では共通している。そして、脳の機能システムを再構築していくために必要なものが「訓練」である。(アンナマリア・ポニバー)

本コースでは、まず言語を「行為(コミュニケーション行為)」として捉え直す。コミュニケーションは、他者との関係性をどのように構築したいかという「意図」、どうすればその構築を促せるかという「予測」を基礎に成立する。つまり他者の意図や状況、文脈のメタ認知の構築を前提に、環境と他者との相互作用として展開される。このようなコミュニケーション行為として捉えるために必要な言語学、心理学、神経科学といった背景を確認したうえで、患者がセラピストとのコミュニケーションを通して共同注意的に気づき、各要素間の関係性、ルールを活性化できるよう導く訓練を学ぶ。

09:20-10:20 (60) コミュニケーション行為としての言語(稲川)

- ①ペルフェッティの言語の再教育と言語学、心理学、哲学、神経科学
- ②機能システム(アノーキン) / 脳の機能システムと失語症分類(ルリア) / 解釈と符号化(ヤコブソン) / 言語行為論(オースティン) / 関連性理論(スペルベルとウィルソン)
- ③コミュニケーション行為の3人称観察と1人称観察 / 行為(発話)の解釈と産出

10:20-11:20 (60) 訓練の構造と手続き(木川田)

- ①言語の再学習の原則: テーマ(既知)とレーマ(未知) / 教示的要素 / テキスト性の基準
- ②道具(絵カード)の特徴と分類およびその意味
- ③臨床における訓練場面の設定と対話の展開

11:30-12:30 (60) 失語症者に対する訓練の実際(宍戸)

- ①外部観察: 失語症検査・訓練・会話における解釈と産生
- ②内部観察: 認知過程、意識経験、志向性
- ③認知問題と訓練の組織化: テーマとレーマの設定、道具の準備、内容・方法・検証

昼休み

13:20-15:50 (150) 演習: 失語症に対する認知問題の実践(全講師)

- ①会話における既知<テーマ>と未知<レーマ>
- ②非言語的コミュニケーション: 1) 表情、2) ジェスチャー
- ③言語的コミュニケーション: 1) 主語、2) 修飾語、3) 述語、4) 身体部位・空間概念

16:00- 終了